

東葛しぜん特別研修会

自然観察基礎講座「春の自然をじっくり学び、楽しく観察しよう」(春編)

日 時：2015年4月18日(土) 10時～15時 天気：晴
場 所：21世紀の森と広場(松戸市) パークセンターと共催
参加者：一般11名、会員10名
担当指導員：渋谷(孝)・田中、事務局：三嶋、オブザーバー：高橋・田島

公園によく来る一般の方に、もっと公園とかかわりを持っていただくきっかけができれば・・・年4回開催して通年の身近な自然を学べたら・・・、指導員でも意外と分かっていない基礎的なことを一緒に復習できたら・・・などの思いで、公園と共催での特別研修会を実施することになりました。午前中はパークセンターの2階でプロジェクターを使っての座学、午後は2班に分かれて野草園で自然観察でした。具体的には◎自然観察のコツ、マナー。◎春ってどんな季節だろう？少数派も？ ◎分類のざっくりした復習 ◎植物の生き方の全体的なこと ◎花は誰のために美しく咲くのか？ ◎自然観察の手法の紹介 ◎野外で実際に楽しく自然観察 などでした。皆さんの目的がかなえられたか、内容や難易度はどうだったか？振り返っても不安ばかりですが、お天気に恵まれ、とりあえず楽しい一日を過ごせていただけたならよかったですかな～と思っています。 渋谷孝子(松戸市)

午前中の座学では、①自然観察のコツ、②花は誰のために美しく咲くのか、③春の生き物 をプロジェクター(PPT)を見ながら楽しく、解り易く、丁寧な説明に睡魔に襲われずに過ごせました。その中の一つである「花は誰のために美しく咲くのか」では、園芸種、野生種共に、花は私達を喜ばせるために美しく、あでやかに、時にはなまめかしく咲いてくれていると思っていましたが、野生種では、可愛いのも、なまめかしいのも、虫や鳥を呼び寄せるあの手この手だったのですね！自分たちの子孫を残すための賢いワザだったとは～。知らなかった知識を得たり、脳の隅っこに押しやられていたものを掘り起こされたりの楽しい座学でした。さあ！午後21世紀の森と広場で、沢山の植物・生物に出会えて、新しい発見がありそうな気配を感じました。 伊藤敏子(船橋市)

午後の野外観察では、途中から「一生懸命！」な時間がやってきました。講師の田中さんから何色もの色紙が示され、「自分の好きな色を選んで、その色と同じものを見つけましょう」というゲームです。私は「あまり簡単では面白くないから」とクリーム色を選んだのですが、沢山あるタンポポやオオヘビイチゴなどはくっきりした黄色です。クリーム色ってどこにあるんだ？と遠目に見たり近づいたりしながら探しましたが、これがなかなか難しい！見れば緑系や赤系の色を選んだ方々も、しゃがみこんだり、首を傾げたり簡単ではなさそうです。一所懸命探すうち、とうとう地表近くのムラサ



キサギゴケの中にクリーム色を見つけました。下唇中央にクリーム色！ルーペでよく観ると棒状の毛も生えていました。なんとサクラの葉柄の付け根にもクリーム色、み・つ・け。観察&発見して自然の中に色を見つけた誰もが、「ホントだ、よく見つけましたね」の田中さんの笑顔に、ちょっと得意そうな笑顔で応えていました。意識して探すと、意外な発見が沢山ありました。そして何より楽しい時間でした。

長谷川依子(松戸市)